

# 小学校 第4学年 音楽科 「おはやしづくりにチャレンジ」

## 育成を目指す資質・能力について 「A表現」(3)音楽づくり 及び〔共通事項〕(1)

音楽科、第4学年、「おはやしづくりにチャレンジ」において、タブレット端末とミライシード(オクリンク)を活用することで、思いや意図をもちながらグループでおはやしの土台となるリズムづくりを行った授業実践例を紹介します。タブレットで操作をするだけでなく、実際に演奏をしてつくったリズムを確かめたり、グループの発表を聴き合ったりすることで、思いや意図に合った表現を工夫することができました。

・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。【思考・判断・表現】

### 事例の概要

流れ	児童	教師
①	発声練習、今月の歌を歌う。	
	めあてを確認する。	
①	日本音楽のとくちょうを取り入れた、おはやしのリズムをつくろう。	
②	ミライシード(オクリンク)を使って、リズムカードを組み合わせる。	オクリンクのコピー機能を使ってリズムの反復や繰り返しができることを助言する。
③	組み合わせた太鼓のリズムを実際に打って、グループで合わせて練習する。練習を振り返るために、ビデオ機能で撮影をする。	グループで考えたリズムカードの組み合わせを提出ボックスで送らせる。
④	各グループの発表を聴き、全体で交流する。	リズムをどのように工夫したのか思いや意図に着目できるようにする。
⑤	学習のまとめ、ふり返りをする。	ビデオ機能を活用して、演奏を振り返り、音楽づくりのまとめができるようにする。

【活用したソフトや機能】 カメラアプリ  
ミライシード(オクリンク)

### 【事例におけるICT活用の場面】



ミライシード(オクリンク)でリズムカードをつなぎ合わせ音楽づくりを行う場面



つないだカードを楽譜の代わりとして、段ボールの手作り楽器で実際に練習をする場面

### 【事例におけるICT活用のポイント】

- ① 音楽づくりでリズムが分からなくなったら、ミライシード(オクリンク)でリズムカードの音声再生ができるようにしておき、リズムを確認できるようにする。
- ② ミライシード(オクリンク)で組み合わせたカードを提出させることで、視覚的にも音楽づくりに関する思いや意図を捉えやすくする。
- ③ タブレット操作だけで完結せず、実際の楽器の演奏を取り入れる。